



とびっくす

No.115

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和5年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～宍道湖のヤマトシジミ資源は高水準を維持～

島根県水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査を6月6・7・8日に実施しましたので結果を報告します。

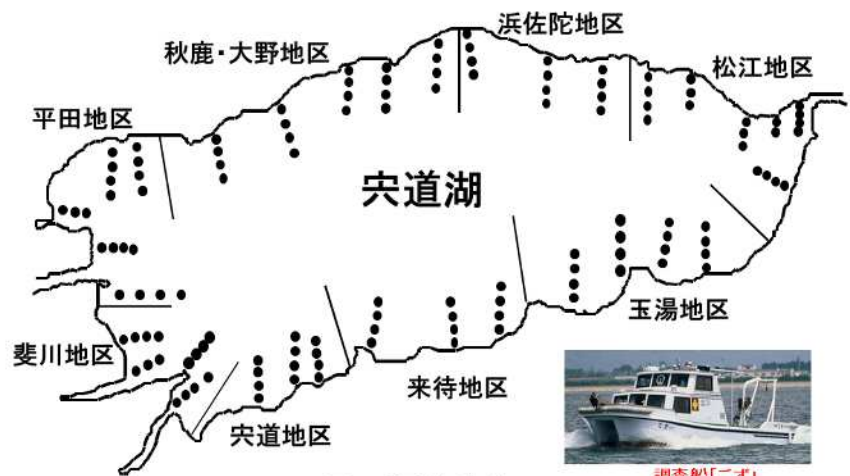


図1 調査地点

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において調査船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1m²)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでヤマトシジミをサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和5年度春季のヤマトシジミの資源量(表)は約6.3万トン、1,747億個が生息していると推定されました。昨年秋季(約7.2万トン)と比べると、約0.9万トン(12%)の減少、昨年春季(約3.3万トン)からは約3万トン(89%)の増加で推移しています(図2)。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約4.5万トン、150億個でした。これは、平成14年以降の、春季資源量の過去21年平均値(約1.7万トン)の274%でした。また、急激に増加した昨年秋季(約4.6万トン)との比較ではほぼ変わらず高水準を維持していました。

表 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	8,505	1,498
成貝	殻長12mm以上17mm未満	9,492	99
	殻長17mm以上(漁獲対象)	45,135	150
	成貝合計	54,627	249
全資源量		63,132	1,747

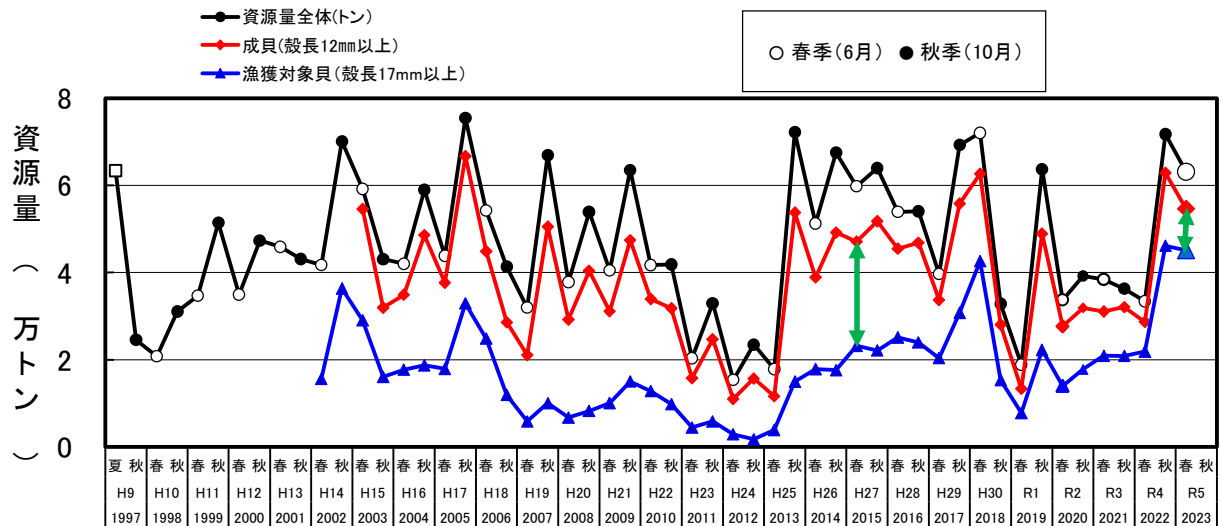


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今後の見通し

今季の資源量は平成 14 年以降の春季調査の中で 2 番目に高く、漁獲対象資源についても過去最高レベルにあった昨年秋の水準を維持していました(図 2、図 3 青枠部分)。しかしながら、漁獲対象となる直前の小型成員(殻長 12 mm 以上 17 mm 未満)の個体数密度は昨年秋季に比べると大きく減少しています(図 3 緑枠部分)。また、重量についても資源全体が安定的に 6 万トン前後で維持されていた平成 25 年～28 年よりも低くなっています(図 2: 成員と漁獲対象員との差分、上下緑矢印)。

当面の漁獲量は、高水準にある漁獲対象資源に支えられ比較的安定すると考えられますが、小型成員の数量は昨年秋よりも低下していることから中長期的な動向には懸念が拭えません。

なお、殻長 12mm 以下の未成員(図 3 黄色部分)の個体数密度は大きく増加していることから、今後の順調な成長に期待したいところです。

今後も引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成員資源の保護に向けた生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

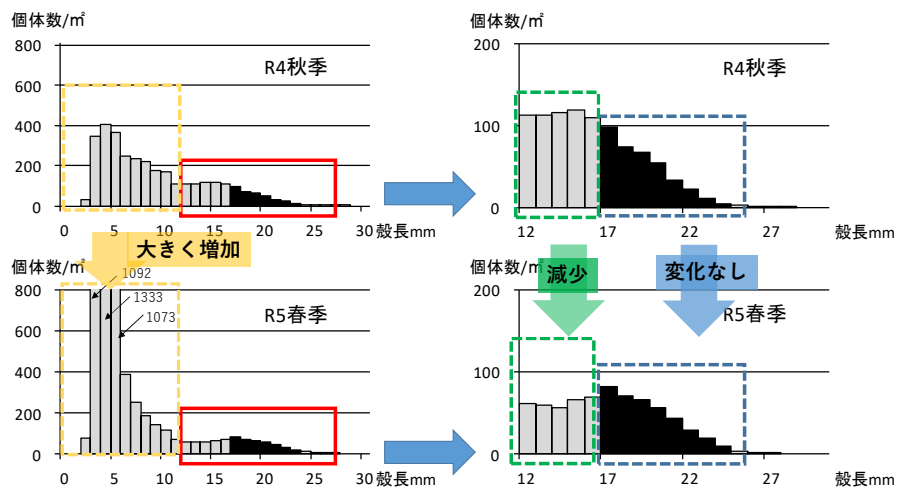


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R4年秋～R5年春 全調査地点の平均)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

